

を背景とすることが起つたらしい。天満宮の神紋に梅鉢や、三蓋松を附するのも皆此頃から始つたものではあるまいか。尙こゝに關聯して老松の傳に就いて一言して置きたい。

天神が松を愛するといふ事と、老松、福部の二人の從者に託宣したといふことを結びつけて、天神の愛松即ち老松であるやうに唱へ出した。世阿彌の作となつて居る。謠曲老松の中に、

諸木の中に松梅は殊に天神の御自愛にて紅梅殿も老松も皆末社と現じ給へり(中略)さて松を大夫といふ事は秦の始皇の御狩の時、天俄にかき壘り、大雨頻りに降りしかば、帝雨を凌がんと、小松の陰に寄り給ふ、此の松俄に大木となり、枝を

垂れ葉をならべ、木の間透間を塞ぎて、其雨を漏らさざりしかば帝、大夫といふ雷を贈り給ひしより松を大夫と申なり。  
(前後略)

室町頃には太宰府の天満宮には紅梅殿、老松の末社ありしかと思はる。京都には、紅梅殿と稱するもの五條坊門に小社としてあつたことが拾芥抄に見えて居る。紅梅明神といふことは聞かないが、老松明神といふことは世に信せられて居た如く、道春の本朝神社考の北野の條に「老松明神者天神之眷屬也」とある。かくて老松も神格化せられ、目出度福神の一種となるに至つた。

## 東 航 雜 談 (カナダ及合衆國に於ける見聞の一二)

文學博士 内 田 銀 藏

一、緒言

二、ビクトリア、圖書館及古文書館

三、オアツタワ、議院附屬圖書館、古文書館

四、カナダ史上注意すべき二三の事實

五、日本に於けるアメリカ史の研究

六、ニューヨーク博物館の古時計

七、ハンシルベニア大學附屬博物館の藏品

## 一、緒言

大正七年八月下旬京都出發、神戸より乗船、九月三日横濱解纜、東に航してカナダ Canada ブリテイッシュ・コロムビア British Columbia 州のビクトリア Victoria に到り上陸す。時に九月十五日なり。ブリテイッシュ・コロムビアはカナダの西端・日本に最も近き處にして、カナダの日没處と稱せらる。ビクトリアより小型の船にてバンクーバー Vancouver に赴き、バンクーバーよりシー・ビー・アール C.P.R. 線(カナデアン・ペシフィック・レールウエー)にてカナダ東部に赴く。途中バンフ及ウインニペッグにて下車し、一日又は數日滞在す。バンフ Banff はカナダのロッキーマウンテンに在る温泉場にして、近傍景色宜しき處多し。予

の到りし時は、ポプラの葉黄ばみて、見事なりき。此處には小博物館あり、主としてロッキーマウンテンの自然及住民に關するものを陳列す。我が箱根、又は有馬などにも、同様の博物館あらば善からむと思へり。ウインニペッグ Winnipeg はカナダ中部の大都會にして、カナダのシカゴと稱せらる。大學もあり。マニトバ大學 University of Manitoba と云ふ。マニトバは州の名なり。予は九月下旬を以てカナダ中央政廳の所在地オアッタワ Ottawa に著し、約二週間滞在せしが、其の頃は同地の秋色頗る佳なるを覺えたり。十月中オアッタワよりトロント Toronto に赴き、暫時滞在、それからモントリオール Montreal クエック Quebec に到り、十一月初旬モントリオールより南して合衆國東部に入り、先づボストン Boston に著す。それより更に南下し、ウースター Worcester ニューヘブレン New Haven ニューヨーク New York

を経て、同月下旬ワシントン Washington に到着、十二月に入りワシントンを發し、フィラデルフィヤ Philadelphia を經由し、再びニューヨークに赴き、同處より又東に航して、其の月二十八日英國リバプール Liverpool 港に到着せり。かくて英國滞在凡二週間の後、大正八年一月十二日ロンドン London より乗船、更に東に航すること凡そ五日、三月三日を以て歸朝す。即ち日本を發し、東へ東へと航して、復日本へ歸り來れるなり。

此の約半歳間の旅行中、見聞せる事柄に就き、申し述べべきこと種々あれども、今は主としてカナダに關することを述べ、終りに合衆國にての見聞の一二を附言すべし。

## 二、ピクトリヤ圖書館及古文書館

予がアメリカ洲到着の最初上陸せるピクトリヤ Victoria は、氣候溫和、風光明媚、人情敦厚、

風俗優美にして、閑雅なる都會なり。滞在數日、至つて居心地よく、予に極めて好き印象を與へたり。此の地は英國を太平洋沿岸に移植せるものなりとの稱、眞に空しからず、都て英國風なり。是は此の都會の創設當初より以來、英國人の要素重きを爲し、殊に退役官吏・軍人など、紳士的の人物此處に居住する者割合に多きに因るならむ。バンクーバーがコスモポリタンなるとは大に趣を異にせり。都てピクトリヤに限らず、ブリテイッシュ・コロムビア沿岸の地は、其の位置頗る北に偏せるにも關せず、氣候溫和にして、冬も暖なり。是は日本海流 Japan Current の北せるもの、更に東南下して、此の沿岸を洗ふに因る。英國がガルフ・ストリーム Gulf Stream の影響にて、割合に暖なると相似たり。日本海流の影響は、日本とカナダと双方を併せて攻究するを要すべし。又東北アジア探檢の歴史は、アメリカ洲西北部探檢の歴史と

密接なる關係を有す。アラスカ Alaska の歴史を取調ぶる者は、自然シペリヤ探檢の來歴に及ぶことを要し、徳川時代に於ける我が北邊の交渉關係を十分に研究する場合には、露人がカムサツカ半島より、更に東の方、海を渡りて、アラスカに迄手を著けし顛末を、よく理會し置くを要すべし。

ビクトリヤはブリテイッシュ・コロンビヤ州政府の所在地にして、此處には州の圖書館及古文書館 Provincial Library and Archives of British Columbia も在り。此の地方即ちアメリカカ洲西北部の探檢の歴史に關する參攷書、地圖、古文書、繪畫其の他を多く藏す。是は現館長スコールフィールド Mr. J. O. S. Scholfield 君が三十年來苦心して蒐集せるものにして、殊にクツツ Cook

バンクーバー Vancouver 等に關するものは、洵に善く蒐まり居れり。此の圖書館兼古文書館の紀要第一冊はビクトリヤの在る所の島、即ちバンクー

バー・アイランドの最初の周航 First Circumnavigation of Vancouver Island に關する精緻なる考證的研究を載す。最早殆んど殘部無しのことなれど、予は特にスコールフィールド君の好意にて、一部を惠まれたれば、茲に出陳し置くものなり。

### 三、オアツタワ、議院附屬圖書館、

#### 古文書館

オアツタワ Ottawa は、オアンタリオ Ontario 州の東北邊、クベック州に接する所に在り。オアツタワ河 Ottawa River に臨む。河を隔てハル・ヒルの町あり。ハルの住民は、主として佛人系なり。オアツタワにても佛語を話す者少なからず。オアツタワの町名は、カナダ史上有名な人物の名を採りて名づけたるもの多し。我が總領事館の在る處はメットカーフ街 Metcalfe Street 云ふ。其の他例へばエルガン街 Elgin Street あり。

カナダ史上重要なる人物にして、我が幕末の時日本にも來れることあるロルド・エルガン Lord E. L. Elgin の名を採りて名づけたるものに係る。ロルド・エルガンの東洋に於ける使命しやうごんの顛末に就きては、專書あれども、其の人一代の傳としては、現トロント大學 University of Toronto 史學教授 ロング Pr. F. Wrong 氏の書かれたるものあり。予トロントに赴きし折、ロング氏に招かれ、其の私邸に至りし時、談偶エルガンの事に及ぶ。氏其の近業に係る論文數篇の抜刷と共に、エルガン傳の一本を予に贈らる。依て茲に之を出陳す。

オアツタワの議院圖書館 Parliamentary Library は、ワシントンのライブラリー・オブ・コングレス Library of Congress in Washington に比すべからざるなり。主として議員に參考資料を供するを目的とすれども、兼て篤學者の來りて藏書を閲覽するを許すものなり。其の性質上、政治經濟に關する

圖書殊に豊富なれども、他の種類の書も亦備れり。國柄だけに英書のみならず、佛書も亦多く藏す。嘗て英國議院史の權威として知られたる、トッド Todd 氏其の館長たり。今はドクトル・グリッフィン Dr. Griffin 君館長の任に當らる。予オアツタワ滞在中、連日此の圖書館に出入し、主としてカナダに關する圖書を閲す。待遇極めて鄭重懇篤にして、館長及館員諸氏の好意深謝せざるべからず。初め同館に至りし時、グリッフィン君自ら予を案内して悉く館内の設備を觀せしむ。其の折に予に語つて曰く、英書と佛書とは、其の裝禎に於て、自ら趣を異にす、恰も兩國民性情の相違を示すに似たりと。其の言頗る味あるを覺ゆ。又當館に於ては、小冊子を入るゝ紙函を、我が日本より取り寄せ居れりと語られたり。本館は前年議院燒失の節、危く其の災に罹るべかりしを、幸にして免れたるは洵に喜ぶべし。尤も其の折、藏書の

一部分は焼失し、床等も一時汚れ、復舊には少なからず手数を要したりと云ふ。

オアツタワには議院附屬圖書館の外に、古文書館 Public Archives あり。造幣局の近傍に在る建物なり。此の古文書館は、カナダ歴史の貴重なる史料を多く藏し、同時にカナダ史料の主要なる研究所なり。館長ドクトル D. D. Dougherty 氏は、カナダ史の權威を以て目せらる。予オアツタワに在りし折は、ドレーター氏偶旅行中に面會を果さざりしかど、館長代理スミス君 Mr. Smith の好意に依り、館内を隈なく巡覽し、且つ所藏古文書の或るものを閱することを得たり。本館にはカナダに存する記録文書の原本多く藏せらるゝのみならず、パリ、ロンドン等に存する古記録、古文書等にして、カナダに關係あるものは、其の完全なる寫を作りて保存し、以て研究上の便に供ふ。又當館にては多年報告書其の他を公にし

居れり。今回我が京都帝國大學へ其の殘部あるもの二十餘冊を寄贈せらる。蓋しカナダ史の根本研究に志す者には指針となるべき好資料なり。

#### 四、カナダ史上注意すべき二三の事實

予はカナダ史に就いては、従來特に研究したることなし。カナダ旅行中、殊にオアツタワ滞在中聊か之に注意せるも、短時日に於て、固より深く研究し得べきに非ず。然れども予の淺薄なる智識を以てしても、カナダ史に關しては、種々興味ある研究問題の存するを認むるなり。先づカナダの中部以西、殊にブリテイッシュ・コロムビアの探檢の歴史は、甚だ興味あるものと思考す。是は日本にも近き處の事なれば、尙更日本の學者に於て研究の必要あるべし。カナダには湖水多し。其の湖水は殆んど連續して存し、地理上の智識不十分なる時代に在りては、或は此等の湖水を經由して

水路太平洋に出で、遂にアジアに到ることも或は可能ならむと想像せられたるなるべし。かゝる希望は實現せられざりしと雖、カナダを西へと進み殊に主として水路を利用して進み行き、遂にカセー Cathy に達せむとの企圖は、北米大陸に於ける地理上重要な発見を誘致したるものなり。モントリオールの近郊にはラシオン Lachine の町あり。即ち支那の義なり。これ有名なる探検者ラサル La Salle が、湖水を経由して、西の方途に支那に達せむと欲し、首途せる處なりと云ふ。ラシオンへは、予モントリオール滞在中、マツギル大學 McGill University の史學教授フライヤー君 Prof. Fryer と共に一日行いて遊べり。

カナダの早き時代の歴史には、ゼスイット教徒の傳道大關係あり。耶蘇會士の報告書、及著書等其の重要な史料なりとす。日本に於ける耶蘇會の傳道のことを取り調ぶる者は、カナダの場合を

參攷して亦思ひ當る所無きに非ざるべし。因に云ふ、カナダ東部の大都市モントリオールは、日本耶蘇教史の著者として、本邦人にも其の名を知られ居るシャルボア Charlevoix に、特別縁故ある地なり。

クベック Quebec 州は、元佛國よりの移住民の本據地にして、茲には革命以前の佛國の制度、習慣移植せられ、本國に在りては革命ありて其の廢滅に歸せる後も、此處にては引き續き存在せり。されば西洋に於ける封建的制度習慣の遺物を研究する者には、クベック州の場合には、特別興味あるものと云ふべし。其の研究を試みたる學者としては、特にマンロー氏 Prof. Munro を擧ぐべし。マンロー氏は今、ハーバード Harvard 大學に於ける市政 Municipal Government 講座擔任の教授なれども、嘗て之に關する一書を著し、又ドーライイ及シヨルト Daughy and Short 兩氏監修のカナダ・エ

ンド・イット・ン・ロビンセス Canada and Its Provinces と題する大出版物中に於て、其の研究の概要を論述せり。

オアンテリオ Ontario 州は英人系の本據地にして、元所謂ユナイテッド・エム・バイヤー・ロヤリス ト United Empire Loyalists の徒の創始經營に係

る。北米に於けるイギリス植民地の其の本國に背きて獨立するや、住民擧げて獨立を希望せしには非ず、其の中又本國に背くに忍びず、英國の王室に對して、引續き忠誠ならむことを欲する者あり。

此等の徒は、獨立して國を建てたる合衆國の領土内に於て、其の堵に安んずること能はず、英政府即ち其の救助の爲に、資を給して、之をカナダに遷し、其の多くを當時猶ほ殆んど未開の域なりしオアンテリオ州に安置して、土地の開拓に従事せしむ。これオアンテリオ州が今日の如く繁榮に赴ける起源にして、カナダ發展史上頗る顯著なる

事實なり。我が國に於て、アメリカ史を研究する者、合衆國建設の顛末に多く注意すべきは、自然のことながら、此等ユナイテッド・エム・バイヤー・ロヤリストのカナダ移住拓植の事蹟も亦注意せざるべからず。

其の外カナダに於ける英人系と佛人系との關係の歴史の如き、カナダに於ける自治發達の來歴の如き、英帝國の一部としてカナダの占むる位置の如き、何れも好個の研究問題たらずんばあらず。カナダは、今日にては地廣けれども人少なく、

全体に於て未だよく開け居れりと云ふべからず。然れども今後は頗る有望にして、合衆國が第十九世紀に於て偉大なる發展を爲したる如く、カナダは第二十世紀に於て偉大なる發展を爲すべしと期待せらる。大体に於て最近に於けるカナダの發達、殊にその中部以西の發達は、合衆國の先蹤を追へり。然れどもカナダは自然の情況必ずしも悉く合



衆國と同じからず、其の住民の氣風、其の歴史、其の國情、亦合衆國と異なる所あり。従つて今後の發展如何なる程度迄合衆國と同じかるべき歟。如何なる點に於て其の特徴を發揮すべき歟、是れ頗る興味ある問題なりとす。

##### 五、日本に於けるアメリカ史の研究

現今我が國に於て歴史の敎授及研究は、通常國史、東洋史、西洋史の三部に分ちて遂行せらる。西洋史はヨーロッパ史を主とし、アメリカ史は從來比較的等閑に附せられ、カナダ歴史の如きは、殆んど顧みられざりし觀あり。然れども今後は一層多く之に注意する必要ありと思考す。或は西洋史を二部に分ち、ヨーロッパ史とアメリカ史とを對立せしむるも佳ならむ歟、而してアメリカ史の研究を十分に爲すには、更に少くとも之を三部に分ち、第一合衆國獨立以前のアメリカ大陸史及カナ

ダ史、第二合衆國史、第三ラテイオン。アメリカ諸國史として之を取調ぶること、史料の性質より云ふも、又事實の上より觀ても、適當なるべしと思はる。其の詳細の説は今暫く之を略す。

終に合衆國旅行中、見聞せるものゝ中、ニューヨーク美術博物館の古時計并にペンシルベニア大學附屬博物館の藏品のことを一言して、以て此の講演を終るべし。

##### 六、ニューヨーク博物館の古時計

ニューヨークの美術博物館 The Metropolitan Museum of Art, New York 陳列品中、予の注意を惹きしものゝ一つは、西曆十八世紀の頃、英佛にて製作せる懷中時計のホルレクシオンなりとす此等の古時計は、いかにも見事なる細工にて、裝飾的要素に富み、美術工藝品としても貴重すべきものなりと見受けたり。此等の時計の特別目錄を

求め待たれば、茲に出陳し置く。我が明和、安永天明、寛政の頃には、オランダより種々の西洋品を輸入し、我が國に於ける一部の人々は、好んで之を玩び、時計も亦輸入せられ、頗る愛好珍重せられたること、當時の記録に見ゆ。其等の時計は此のニューヨーク博物館に存するもの、類なりしや否、知らまほしきことにこそ。

### 七、ペンシルベニア大學附屬博物館

の藏品

米國フィラデルフイヤ Philadelphia に在るペンシルベニア大學 University of Pennsylvania の附屬博物館勤務ビショップ君 Mr. Bishop は、前年セイヌ先生 Prof. Sayce と同伴にて京都へ來られしことあり。予同博物館に至り、先づビショップ君を訪ねしに、生憎支那出張中にて在らず。然れども館長及館員の厚意に由り、其の支那部及ア

ツシリヤ部等を觀覽し、深切なる説明を聴くことを得、且つ刊行物の寄贈を受けたり。當館に於ける支那部の藏品は、米國有數のものなりと云ふ。往年佛國の支那學者シャバンヌ Chavannes 氏來りて仔細に研究したりと聞けり。刊行物中其等標本に關する記載あるを以て、茲に出陳して諸君の一瞥に供ふ。

(以上は、大正八年三月十五日、京都帝國大學教室に於て開催せる、史學研究會例會にての、講演の草案を、少しく補訂したるものなり。最初此の草案を作るに當り、那波利貞君筆記の勞を執られたり。茲に記して同君の好意を深謝す。大正八年五月二十四日。)